



恐竜むかわ竜全身復元骨格製作へ



実物化石を布の上に並べたむかわ竜

むかわ町は、むかわ竜のレプリカ製作と全身復元骨格製作をはじめます。実物の骨化石も組み込んだ形の全身復元骨格を作るために、まずはレプリカで全身を組み立て、可能な限り実物化石も組み込めるような骨組みを作る予定です。

この復元骨格は、2021年に予定されている穂別博物館リニューアル（詳細は未定）にあわせて製作する計画でしたが、国立科学博物館などが主催する「恐竜博2019（東京・上野）」で展示する予定になったため、製作を早めました。2019年の夏にむかわ竜全身復元がお披露目される予定です。

穂別博物館ボランティア募集

ボランティア活動をご希望の方は、博物館までお問い合わせください。具体的な活動内容について説明します。

- (1) 化石クリーニング補助（若干名）
- (2) 化石レプリカ制作補助（若干名）
- (3) 収蔵資料整理補助（若干名）
- (4) 野外調査作業補助
- (5) 体験活動（恐竜ゲーなどのイベント）補助（冬季に研修、来年4月以降に活動）
- (6) 展示解説補助（冬季に研修、来年4月以降に活動）

むかわ町天然記念物紹介 しょうかい

メソダーモケリス・ウンデュラータス

(むかわ町文化財第6号) ぶんかざい



メソダーモケリス・ウンデュラータス
(*Mesodermochelys undulatus*)
(HMG-0005)の背甲 はいこう



メソダーモケリス・ウンデュラー
タスの全身復元模型 ぜんしんふくげんもけい

1996年にオサガメ科の新属新種として発表された*白亜紀後期のウミガメです。新種の根拠となる唯一の標本；ホロタイプは1980年に穂別在住の石崎正行氏・荒木新太郎氏によって発見・採集されました。

この種類はむかわ町穂別、淡路島、香川県から発見されています。この中で、むかわ町穂別からは、全体の8割以上にあたる33個体のメソダーモケリス・ウンデュラータス標本が発見されていて、頭骨を除く全身の骨化石が産出しています。

現在生きているウミガメ類は汎世界的に分布しますが、メソダーモケリスは日本周辺からしか産出していないので、当時と現在の動物群の分布域変遷を考える上で重要な化石です。

* 発表論文：Hirayama, R. and Chitoku, T., 1996, Family Dermochelyidae (Superfamily Chelonioidae) from the Upper Cretaceous of North Japan. *Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series*, no. 184, p.597-662.

学芸員 西村智弘



むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30~17:00 (最終入館 16:30)

観覧料 個人 / 小~高校生: 100円

大人 300円

団体 / 小~高校生: 50円

大人 200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

2017年11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2017年12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 ○ 町民無料観覧日